

## タイでは 18 種類の性別があるなんて、驚き！

まず、日本とタイは季節が違います。日本の季節は春夏秋冬がありますが、タイは暑季、雨季、乾季という3つだけの季節しかありません。乾季は平均気温が下がり、非常に過ごしやすくなります。あとは、宗教に大きな違いがあります。日本は無宗教者がほとんどですが、タイはほとんどが仏教を、信仰しています。なので、タイでは色々なルールがあります。例えば、露出度が高い服を着用しないこと、肩や足が出る服を着ないこと、仏像よりも高い位置にはいけないなど他にも細かいルールがとてまたくさんあります。

僕が1番おどろいた日本とタイの大きな違いは、日本は性別が男と女の2択に対して、タイの性別はなんと、18種類もあるということです、どこで分けられるかと言うと、まず、生まれた時の肉体的性別、精神的に男か女か、男の格好をするか女の格好をするか、恋愛対象は男か女か両方か、男と女のどちらの役割をするかなどとても分けられる条件が沢山あってとても面白いなと思いました。

(新谷 浩太)

## タイの行事・お祭りについて

タイの行事とお祭りについて今回は3つご紹介しようと思います。

### ・タイにはお正月が3回ある!?

タイには1年間のうちにお正月が3回あります。1つは日本同様1月1日の元旦  
2つ目は昔の暦である旧暦のお正月で、現在の暦に当てはめると1月の下旬~2月の中旬  
3つ目がタイ歴の旧正月で、毎年4月13~15日に水かけ祭り(ソクラーン)が行われます。

元々は新年に仏像や仏塔、家族の年長者などの手に水をかけ清めるという伝統的な風習があり  
そこから現在の「水かけ祭り」が行われるようになったそうです。

みんなでゆったり過ごす日が年に3回もあるなんてとても羨ましいですね!

### ・川に灯籠を流すロイクラトン

満月の夜に川に灯籠を流すお祭りがロイクラトンです。13世紀のスコタイ王朝時代、  
川への感謝の気持ちを表すため、バナナの葉やハスの花で作った灯籠(クラトン)を流したのがロイクラトンの始まりです。毎年10~11月頃の満月の日、花やお線香で飾り付けしたろうそくを灯したクラトンを水面に流す美しい景色が全国各地で見られます。

### ・オークパンサー いのりの日

僧侶(お坊さん)たちは旧暦8月の満月の夜から修行を始め(カオパンサー)、3ヶ月間お寺で厳しい修行を行います。その修行が終わるのが旧暦の11月の満月の日で、この日をオークパンサーと言います。タイにはこうした仏教にまつわる祝日(何日か)があります。オークパンサーの日は、多くの人がお寺に「お参り」、「タンブン(善い行いをして徳を積む)」のために訪れます。

他にもタイには珍しい行事やお祭りが沢山あります。

日本では目にしたことのないものなども・・・。

気になる方は是非調べてみてくださいね!

## タイの魅力に関する自由研究の扉⑤－大学生活事情

### ●BLのブームを巻き起こしたタイ流ドラマ『2gether』で描かれる大学生

日本でも人気を博したこのドラマの中で、日本人が意外と思ったことは、タイの大学生が制服を着て、リッチにも車で通学していることだったかもしれない。その真偽はどうかといえば、どちらもイエスである。大学生なら、国立・私立（タイには公立はない）問わず、制服を着用して、街中の誰の目から見ても「大学生」であることがわかる。男子は白のワイシャツと黒のスラックス、女子は白のブラウスと黒のスカートの着用となっている。どこの大学生かを区別する目印として、男子ならバックル、女子では胸元のバッジで見分けがつく。大学生に限らず、タイ人の場合、勤め先の会社の制服で通勤する姿は一般的によく見かけられる。制服は、自分のアイデンティティを示すステータスのシンボルとらえられている。日本なら、特に街中では不特定大多数の中の匿名性を装うための私服が好まれるが、逆にタイでは、ステータスを装うことに何の違和感もないという印象をもつ。

一方、車での通学は、タイではごく普通であるが、でも一部の金持ちの学生に限られている。車での通学でなくても、学生のかかなりの割合は金持ち層に属すると思ってよい。BMWやポルシェでの通学は当たり前、別段驚くことでもない。タイでは、家に帰れば、メイドさんの一人や二人はいる家庭は、そんなに珍しくもないのである。もちろん、圧倒的な割合は、BTSや地下鉄、バス通学ではある。車での通学は、日本の私たちの学生時代にもあったので、それほど驚くこともない。さすがベンツなどの高級車での通学はなかったが、1960年代～80年代初期ごろまで、家の普通の大衆車での通学者は、結構存在していた。

### ●授業は1コマ＝3時間というハードさー辛い、それとも楽勝

タイの学制は、日本とまったく同じ「6・3・3・4」制であるが、学期は、前期が5月中旬～9月下旬、後期が11月初旬～3月中旬となっている。前期の後期の区分は、タイの季節のシーズンを反映している感じで、前期は雨が本格的に降り出す「雨季」、後期は雨降りの日をほとんど経験しない「乾季」に対応している。これは、コメ作りの国の季節感を反映し、前期は田植えと稲の成長期、後期は日照りの中での収穫期というふうに考えることができる。日本と比べると、前期と後期の開始時期は、約1か月程度ずれていると思ってよい。タイでは、新学期が始まる4月～5月中旬の時期が長期休暇期間で、一年のうち最もホットの灼熱の季節で、雨がまったく降らず池の魚が干上がり、酸素を求めてアップアップ生きき絶え絶えになる、それほど暑いけれど、木立の花が一斉に咲き乱れ、4月の正月・ソクラーンの「水かけ祭り」のシーズンを迎える。5月中旬から始まる新学期は、なんとなく気分すっきりで新鮮な1年の始まりという感じになる。青空に黄色のシャワーのような花をつける「ゴールデンシャワー」の花がアチコチで咲き誇って、これから新学期がいよいよ開始される合図になる。タイの日本でいう1コマの授業時間は、なんと3時間で日本の2

倍の時間数である。9時～12時までが1時限目の授業、13時～16時までが2時限目の授業で、1日2コマが履修の基本形である。1コマ3時間というと、日本の学制から見れば極めてハードであることは間違いない。しかも、日本のように大教室や中教室での大収容の教室で行わず、高校生が授業を受ける教室程度の大きさのところで受講するので、多分日本の学生にとっては、あまりにもしんどく辛すぎるかもしれない。もちろん先生によって事情は異なるが、3時間ビッチリするのは珍しく、途中に30分程度の休憩を挟むことしばしばである。また、結構開始時間もタイ時間で、20分遅れ程度は普通のこと、だいいち先生自身が時間通りに来ないことも多い。狭い教室の中では、結構SNSやインスタなどの内職をしているものも多く、授業を妨害するようなことがなければ、先生も見て見ぬふりをする、そんなホンワカなユルユルの状態の授業風景がよく見かけられる。これは、あくまでも私の個人的な印象である。

### ●日本の学生と違って本当によく勉強する？—凄いこと、それとも不幸せ

タイの学生たちは、本当によくこまめにノートに筆記することは、たしかである。ノートを開いて、マックやKFCはじめ、学内のベンチ、ちょっとしたスペースなど、至るところで勉強している風景に出くわす。パソコンでの勉強風景は、街中では珍しくもないほど、学生＝勉強という図式は一般的である。日本では、課外ではバイトか部活が一般的なスタイルであるが、タイの場合、学生が日本の学生がするような雑務サービス労働、しかも低賃金ですることは、まずない。もし、そうしたことがあれば、それは学生でないという証明になるほど、日本でいうところのバイトはしない。そんなわけで、高級車を乗り回して通学している学生であっても、実によく勉学に励むし、金持ちの子息であっても、財布をみると、100バーツ（300円）紙幣が2枚程度であることが多い。その面では貧富の差があっても、同じ制服を着ている学生としては、みんな平等で、日本の学生以上に財布にお金を所持している者は、基本いないといってよい。当然、マネーがなければ満足いく買い物などもできず、活動範囲も狭まる。大学＝勉学という図式という意識を、学生のみならず街中の市井の民の共通認識であってみれば、勉学に励むのに、それ以上のお金は必要ないということになる。考えてみれば、バイトが生活の中に深くインプットされている日本の学生は、家庭が経済的に恵まれているタイの学生生活よりも貧困ということでもある。遊び回るのに少しばかりゆとりのある日本の学生と比較して、勉学にはそれ以外のお金は必要な命的な命題を前提とする、しかも学生時代の一時期の期間、そうした状態におかれるタイの学生は、やっぱり裕福であるには違いない。日本よりも、将来の財産として勉学の成果が積み重ねられ、加えてステイタスにもなる制服を着用できるなんて、なんと幸せなことか。というふうに思わず、ユニクロなどのカジュアルで装い、苦学的なバイトをこなしつつ、大学で最低限の単位取得のための勉学しか集中せず、余力があれば遊び回る方が普通で大学生活らしいと思う日本の現実、どちらが幸せなのか？ いちどタイと日本の学生に聞いてみたい。（石井雄二）



<https://taptim347.hatenablog.com/entry/2019/10/04/002136>

<https://yoshmotm.ti-da.net/e9720244.html>



<https://www.thaich.net/bangkoktsushin/20130805a.htm>

<https://theyugaku.jp/2460/>